

温もりを届けたい、手からこころへ.....

たまちゃん通信 66号

2015
平成27年6月 - 1

今月の情報



E-mail: honbu@otedama.jp

●お問い合わせなどメールをご利用ください



http://www.otedama.jp

●たまちゃん通信はホームページに掲載

日本のお手玉の会本部

〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL : 0897-32-0302

FAX : 0897-32-0311



BS朝日の新番組 『黒柳徹子のゴドモノクニ』

サトウハチローさんに宮中会長と片岡鶴太郎さん出演

BS朝日は、開局15周年の特別企画として『黒柳徹子のゴドモノクニ』を4月15日(水)にスタートした。この番組は、大正11年から昭和19年までの22年間に278冊発行された絵雑誌『ゴドモノクニ』に、子どもたちの情操を育てるため、芸術作品を掲載してきた芸術家たちの人生を“旅人”がたどるものです。

初回は、2万編を超える詩作を残した童謡詩人であり、軽演劇でも活躍したサトウハチローさんの世界です。「ちいさい秋みつけた」「うれしいひなまつり」など、いまでも歌い継がれる童謡の作詩をはじめ、終戦直後の日本人を元気づけた「リンゴの唄」を作詩しています。

旅人は、画家・書家として活躍する俳優の片岡鶴太郎さんです。サトウハチローさんの内弟子で詩人の宮中雲子さん(日本のお手玉の会会長)も一緒にたどります。

「長崎の鐘」、詩集「おかあさん」など、数々の名作を残したサトウハチローさんだが、少年時代には手の付けられない悪童で、当時、小笠原にあった感化院(現・児童自立支援施設)に入っていたこともありました。

そして、世に出たきっかけは、詩人ではなく喜劇王エノケンさんの座付作家でした。また、作家の菊田一夫さんをはじめとする遊び仲間と、おもちゃ屋を開いたこともありました。そんなサトウハチローさんが、いかにして子どもたちに夢を与える詩人に生まれ変わったのか、というところが紹介されました。

片岡鶴太郎さんは、サトウハチローさんと同じ東京生まれで、浅草で青春時代を過ごしました。自分の人生を重ね合わせながら、茗荷谷・浅草・上野動物園と、サトウハチローさんの足跡をたどりましました。サトウさんが通った小学校、大好きだったお酒、お気に入りの下町の甘味などを訪ねました。

また、サトウさんの弟子の宮中会長へのインタビューから、生涯母への思いを抱きつづけた純粋な姿が浮かび上がりました。

